

愛育病院 無痛分娩看護マニュアル

産婦さんご家族が安心して無痛分娩に臨めるように看護援助いたします。
産婦さんが満足いく無痛分娩を提供できるよう努力しています。

1. 妊娠中における看護

①妊婦健診において初期指導・助産師健診・後期指導等を通じて、個別性のあるきめ細やかな指導を行います。また、無痛分娩における情報を提供し、不安の軽減に努めていきます。

②無痛分娩希望者には「無痛分娩のお話」の受講を勧めます。また、当院で妊婦健診を受診されている患者様には、診察予約サイトより無痛分娩における動画が掲載されていることをお伝えし、必要時閲覧していただきます。

2. 入院当日における看護

当院では、計画無痛分娩とオンデマンド無痛分娩の2種類がありますが、計画無痛分娩では分娩の前日に入院をしていただきます。以下は計画無痛分娩の際の看護援助となります。

①入院前

- ・来院前にカルテより情報収集を行い、指示表より医師の指示を確認します。
- ・同意書の有無、署名の確認をします。
- ・必要物品が揃っているか確認します。
- ・救急カートの物品を確認します。

②入院時（13-14時に来院していただきます）

- ・母子手帳、診察券、保険証より本人確認を行います。
- ・必要書類が追加であれば受け取ります。
- ・バイタルサインを測定し、入院スケジュールの説明後、病棟オリエンテーションを行います。
- ・分娩監視装置を約30分間装着し、観察および評価を行います。
- ・医師の診察がある場合は、診察介助を行います。診察所見によっては、必要時ミニメトロの挿入があります。プロスタグランディンE₂錠の翌日内服の指示が出た場合は、準夜勤帯で浣腸を必要時実施します。

- ・ 医師へ分娩監視装置の結果を評価してもらい、最終的な指示を確認します。
- ・ 準夜勤帯で訪室し、心音聴取および分娩当日スケジュール確認を行います。
- ・ 21 時以降禁食であることを確認します。

3. 分娩当日における看護

詳しい必要物品・手順等は「愛育病院 分娩室日勤帯スケジュール」を参照。

①準備

- ・ カルテで産婦情報や医師の指示等を再確認します。
- ・ 救急カートの物品を確認します。
- ・ 点滴類、分娩監視装置、硬膜外麻酔セット、診察器具等の準備を行います。
- ・ インファントウォーマーおよび新生児蘇生物品の点検を行います。

②硬膜外麻酔介助前

- ・ 産婦さん本人であることを確認します。
- ・ 分娩監視装置の装着、およびバイタルサインの測定を行います。
- ・ 水分補給の点滴を開始します。摂取は O S - 1 ゼリーのみ摂取が可能です。
- ・ 対象者には浣腸、プロスタグランディン E₂錠の内服（1 時間おきに 1 錠、2 回まで）などを行います。

③硬膜外麻酔介助～コールドチェックまで

- ・ 産婦さんの体勢介助を行います。
- ・ 硬膜外麻酔処置後、分娩監視装置の装着、バイタルサイン（血圧・脈拍・酸素飽和度）測定をし、異常がなければテストドーズ（麻酔の初回注入）を開始します。
- ・ 血圧測定は 1 5 分間隔で測定していきます。
- ・ テストドーズ後、副作用（金属味、耳鳴り等）がないかを確認します。
- ・ テストドーズより 2 0 分後、コールドチェックを行います。アイスノンを腹部に当て、冷感が消失しているかを確認します。冷感が消失していない場合などは硬膜外麻酔処置をやり直すこともあります。

④分娩進行中

- ・ 無痛分娩中は分娩監視装置を継続的に装着していきます。
- ・ 必要に応じて促進剤の量を段階的に調整していきます。
- ・ 硬膜外麻酔が効いてきたところで医師の診察があり、人工破膜を行います。羊水が流れ出てくる感じがあります。
- ・ 適宜、診察および導尿を行います。分娩進行をその都度評価していきます。必要に応じて医

師とともに診察を行ったり、エコーにて赤ちゃんの状態を確認することがあります。

- ・麻酔効果を評価し、痛みに応じて麻酔薬を追加していきます。持続的に麻酔が注入されていないため、痛みが生じた場合や不安がある時はナースコールでお知らせください。
- ・硬膜外カテーテルの刺入部は適宜確認し、異常がないことを確認していきます。
- ・状況に応じて、呼吸方法や努責の練習を行っていきます。
- ・ご面会（ご主人のみ）は可能ですが、診察時は一度退室していただくことがあります。

⑤分娩時

- ・分娩の準備を行っていきます。立会い分娩の場合は、準備が整い次第、ご主人に再度入室していただき、サポートをしていただきます。
- ・陣痛に合わせて努責をかけていきます。鎮痛効果により、陣痛のタイミングが分からない場合でも、介助者がサポートしていきます。
- ・必要時、クリステレル圧出法（母体のお腹の上を押す方法）や吸引分娩でお産をお手伝いすることがあります。
- ・赤ちゃんのケアは新生児蘇生法のアルゴリズムに従って進めていきます。

⑥分娩後

- ・母児ともに異常がなければ、産後2時間一緒に過ごしていただきます。
- ・母体のバイタルサインや子宮復古の状況、出血量等確認していきます。異常時は医師へ報告し、適切な処置を行っていきます。
- ・分娩後2時間が経過し、異常がなければ帰室の準備をしていきます。また、帰室後の注意事項やスケジュールの説明をします。

出産は産婦さんご本人やご家族にとって、とても大切なイベントです。素敵なお産となるように、愛育病院スタッフ一同、精一杯お手伝いさせていただきます。

令和5年7月1日 更新